

## 元素分析室の研究支援に対する「謝辞」について

- 1) 論文に謝辞を記載する場合は、**技術職員の個人名**の明記をお願いします。  
技術職員個人への謝辞が収集対象で、**組織名称による謝辞は対象外**のためです。
- 2) 第三者でも判別しやすい、個人を**特定できる所属情報**を付記してください。  
最低限、「**東北大学 金属材料研究所**」の情報を含めてください。
- 3) 謝辞記載論文を収集していますので**情報提供**をお願いします。

以下、参考例です。

(1) 少し長いですが、以下であれば必要十分な情報量と考えます。

**The author is indebted to Fuyuki Sakamoto (Analytical Research Core for Advanced Materials, Institute for Materials Research, Tohoku University) for conducting ICP-AES chemical analyses.**

ICP発光分析について、坂本冬樹氏(東北大学金属材料研究所材料分析研究コア)による技術支援に感謝の意を示します。

著者の所属が明記されているので、第三者でも謝辞相手を誤解しないで済みます。  
同姓同名を避けられるのであれば、名前をイニシャルに(**F. Sakamoto**)することや、所属名を簡単(**Institute for Materials Research, Tohoku University**)にしても、まったく問題ありません。

(2) 次のような表記は避けてください。

**The author is indebted to F. Sakamoto for conducting ICP-AES chemical analyses.**

ICP発光分析について、坂本冬樹氏による技術支援に感謝の意を示します。

全国に同じ名前的人がいらないとは考えにくく、対象人物を特定できません。  
著者の申出がないと、本人でも自分への謝辞か判断できないおそれがあります。

**The author thanks Analytical Research Core for Advanced Materials, Institute for Materials Research, Tohoku University for conducting ICP-AES chemical analyses.**

ICP発光分析について、東北大学金属材料研究所材料分析研究コアによる技術支援に感謝の意を示します。

冒頭に記したように、組織名称は業績収集の対象外です。  
できるだけ技術職員個人の名前に言及するよう、お願いします。

謝辞の有無に関わらず、報告した分析データを含む投稿論文が掲載された際には、DOIなどの情報(\*)を連絡下されれば幸いです。今後の研究支援に活かして参ります。

(\*)本文へのアクセスのためです。オープンアクセスでない、あるいは包括契約対象外でpay-per-viewが必要な論文などは、別刷等の提供をお願いできると助かります。

2024年7月24日改定